

【科目名】臨床評価実習		【担当教員】理学療法学専攻専任教員 (メールアドレス) matsubayashi@nur05.onmicrosoft.com (オフィスアワー)水曜日以外の在室日
【授業区分】 専門分野 (臨床実習)	【授業コード】 3-19-0715-0-1	
【開講時期】3 年次 後期	【選択必修】必修	
【単位数】4 単位	【コマ数】	
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 1. この科目を履修するには、理学療法評価学演習を修得すること。 2. 学外実習を実施するには、学外実習前の客観的能力試験 (OSCE) に合格すること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 1. 実習の手引きを熟読しておくこと。		
<b>【講義概要】</b> (目的) この科目は、症例に即した評価方法の選択・実施、評価結果より問題点を抽出し、症例の障害像を把握する課程を学ぶことを目的としている。 (方法) 学内実習は、実習前後に実施とし、学外実習前は実技試験を行い、学外実習後は指導教員の指導のもと症例発表を行う。学外実習では、医療機関等に赴き臨床実習指導者のもと 3 週間の実習を行う。		
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> 1. 理学療法評価の目的を理解し、症例に即した評価の選択・実施ができる。 2. 症例の問題点を的確に抽出し、障害像を把握することができる。 <b>【行動目標(SBO)】</b> 1. 適切な理学療法評価を行うことができる。 2. 症例に即した問題点を抽出し、障害像を述べるすることができる。		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 1. 実習の手引き		
<b>【参考書】</b> 1. 理学療法評価に関わる参考書すべて		
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規程の GPA 制度に従う。 1. 学外実習を実施できるものは、実習前に実施する OSCE に合格したものとする。 2. 最終評価は学外実習と実習後の学内実習 (症例報告等) の内容から総合的に評価する。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		40	0	10	5	45	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	30	0	5	1	25	0	0	0
	思考・推論・創造の力	10	0	5	3	20	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシ ップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	1	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)		時間(分)			
1～5	オリエンテーション (学内) 学外実習の概要、OSCE について	講義		実習の手引きを熟読して おくこと。		60			
6～ 10	理学療法評価 (学内) 理学療法評価の実践	実技							
11～ 35	学外実習 理学療法見学、情報収集、理学療法評価の 実施	実技		デイリーノート、 ケースノート		120			
36～ 60	学外実習 理学療法見学、理学療法評価の実施と修正	実技		デイリーノート、 ケースノート		120			
61～ 85	学外実習 症例発表、まとめ	実技		デイリーノート、 ケースノート		120			
86	学外実習の総括 (学内)	講義							
87 ～92	症例報告 (学内)	演習							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。